

令和6年度神戸市総合評価落札方式における主な変更点

令和6年度神戸市総合評価落札方式の実施方法について、下記のとおり変更しますので、お知らせいたします。

記

1. 標準型（高度技術評価型）の新設
  - ・標準型（特定工事に適用）で示していた評価項目等を一部見直すとともに、標準型（高度技術評価型）として定める。
2. 「週休2日工事の実績」の配点変更
  - ・標準型、簡易型において、加点数を最大2点から1点に変更。
3. 「地元下請企業の活用実績」を評価項目として追加
  - ・標準型、簡易型（実績確認型）において、同じ工事区分に該当する過去1年間の完成工事における地元下請率に応じて評価する「地元下請企業の活用実績」（最大2点）を追加し、地元企業施工比率に対する配点を3点から4点に変更する。
4. 社会貢献の取組における評価区分の追加
  - ・標準型、簡易型（実績確認型）において、CCUS（建設キャリアアップシステム）の導入を評価。
5. 「災害復旧工事等の実績」に関する提出書類の変更
  - ・様式第21-1号 社会貢献項目等実績証明書（その1）を廃止
  - ・証明資料をCORINS 竣工時カルテの写しに変更。

以上